

# 2026年3月期 第3四半期 決算説明資料

2026年1月30日

- 1) 決算概要
- 2) 売上高・利益の推移
- 3) 事業別売上高の増減
- 4) EBITDA・営業利益の増減 【売上高・費用内訳】
- 5) 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 6) 主なニュースリリース

注) 本資料には、本資料作成日時点で入手可能な将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。  
世界経済の動向・市場需要・競合状況・為替の変動等にかかわる様々なリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性がありますことをご承知おきください。  
尚、本資料掲載情報は、表示単位未満の端数は切捨て、増減率は小数点以下第2位を四捨五入し小数第1位まで記載しております。  
また、増減率が1000%を超える場合、及び一方若しくは両方がマイナスとなる場合は「－」表記しております。

# 1) 決算概要

2026年3月期 第3四半期決算のポイント

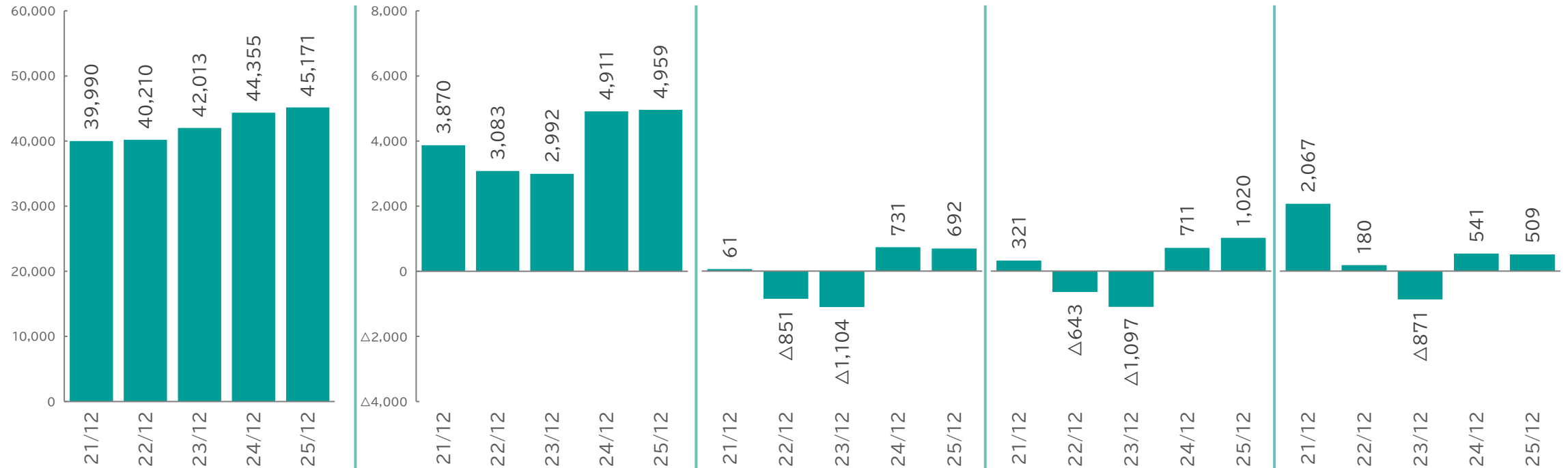
## 売上高は5期連続増収、EBITDA・営業利益は前年同期並みで推移

- 売上高は、モビリティソリューション事業で前期1Qに計上した一過性売上の反動減に加え、カーナビゲーション用データの販売が低調に推移したものの、公共ソリューション事業で住宅地図データの提供や上期の受託案件が増加したほか、GISパッケージなどのストック型サービスが堅調に推移し増収。
- 損益面では、増収による増益効果はあるものの、売上構成変化や人件費の増加などにより、EBITDAは前年同期比で微増、営業利益は微減。経常利益は受取配当金の増加や為替影響により前年同期比で増益となるも、四半期純利益は法人税等の影響により前年同期比で微減。

(金額単位:百万円)	① 前年同期実績 (2025年3月期3Q)	② 当期実績 (2026年3月期3Q)	前年同期比(②-①)	
				増減率
売上高	44,355	45,171	+ 816	+ 1.8%
営業費用	43,624	44,479	+ 855	+ 2.0%
EBITDA (EBITDAマージン)	4,911 11.1%	4,959 11.0%	+ 47 △ 0.1pt	+ 1.0% -
営業利益 (営業利益率)	731 1.6%	692 1.5%	△ 38 △ 0.1pt	△ 5.3% -
経常利益	711	1,020	+ 308	+ 43.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	541	509	△ 31	△ 5.8%
ROE (自己資本当期純利益率)	1.1%	1.0%	△ 0.1pt	-

## 2) 売上高・利益の推移

(金額単位:百万円)



売上高

EBITDA

営業利益

経常利益

親会社株主に帰属する  
四半期純利益前年  
同期比  
(増減率)+ 816百万円  
(+ 1.8%)+ 47百万円  
(+ 1.0%)△ 38百万円  
(△ 5.3%)+ 308百万円  
(+ 43.4%)△ 31百万円  
(△ 5.8%)

5期連続 増収

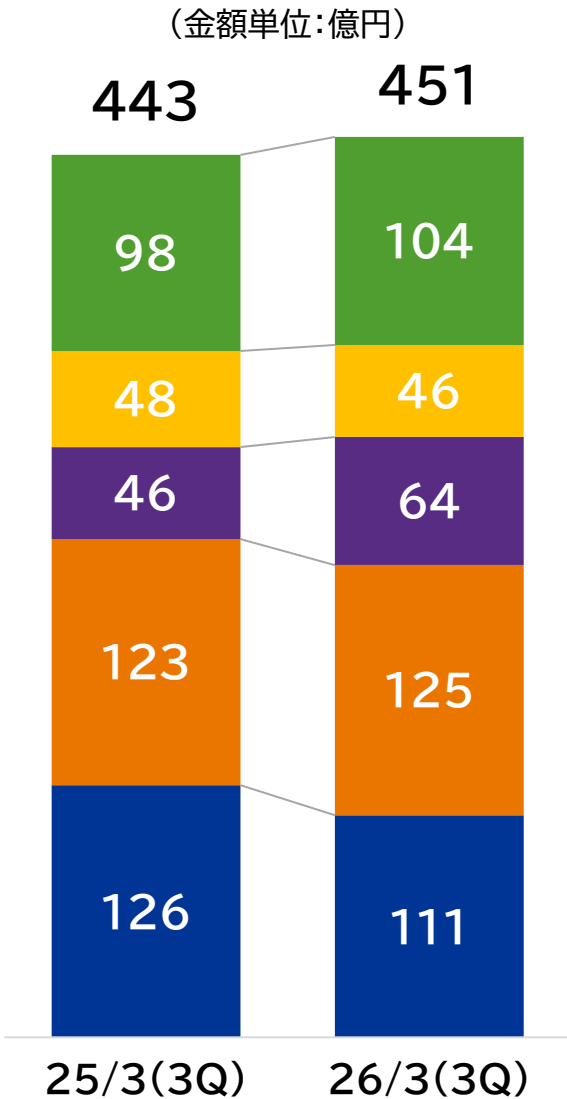
2期連続 増益

2期ぶり 減益

2期連続 増益

2期ぶり 減益

### 3) 事業別売上高の増減

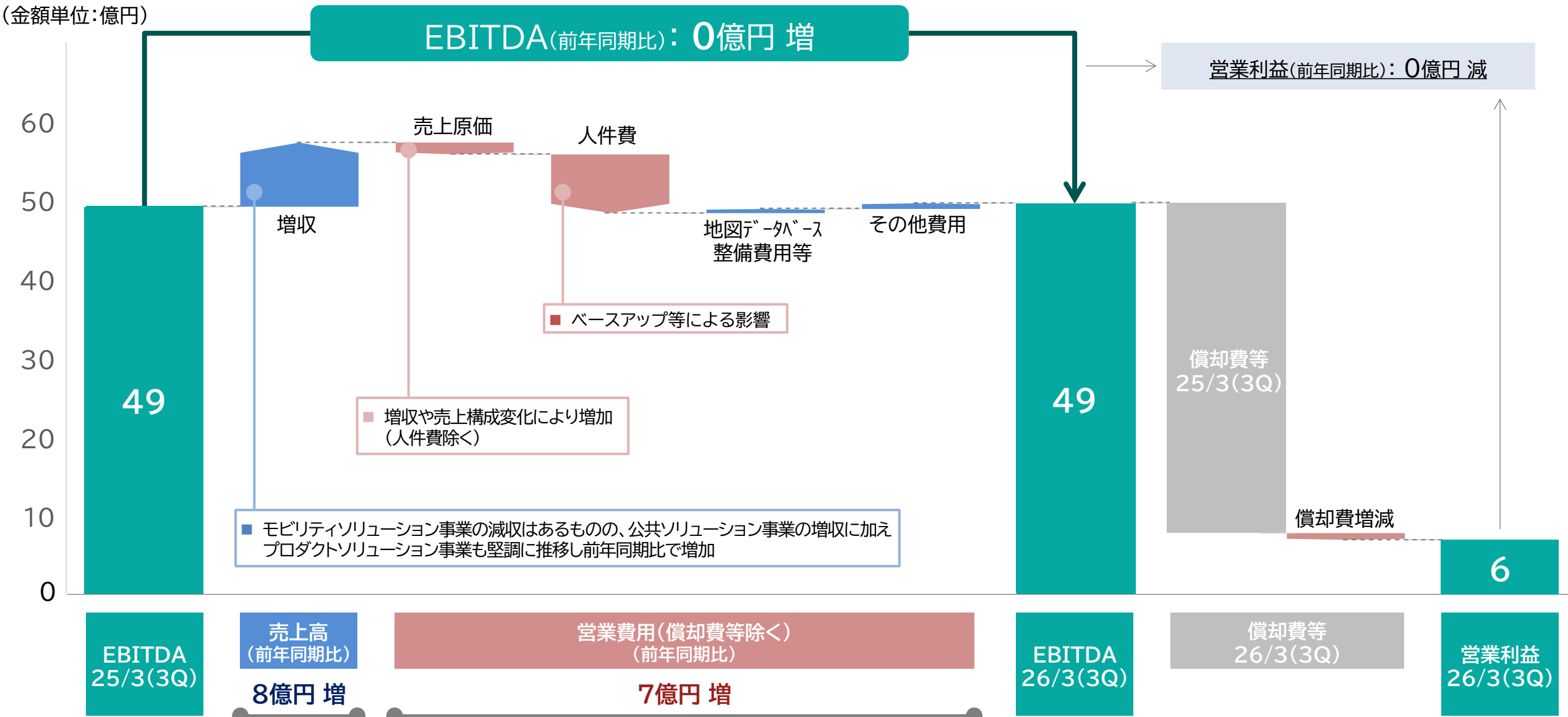


※ 25年3月期3Qの数値は、中長期経営計画(ZGP2030)の事業区分に組み替えて表示しております。

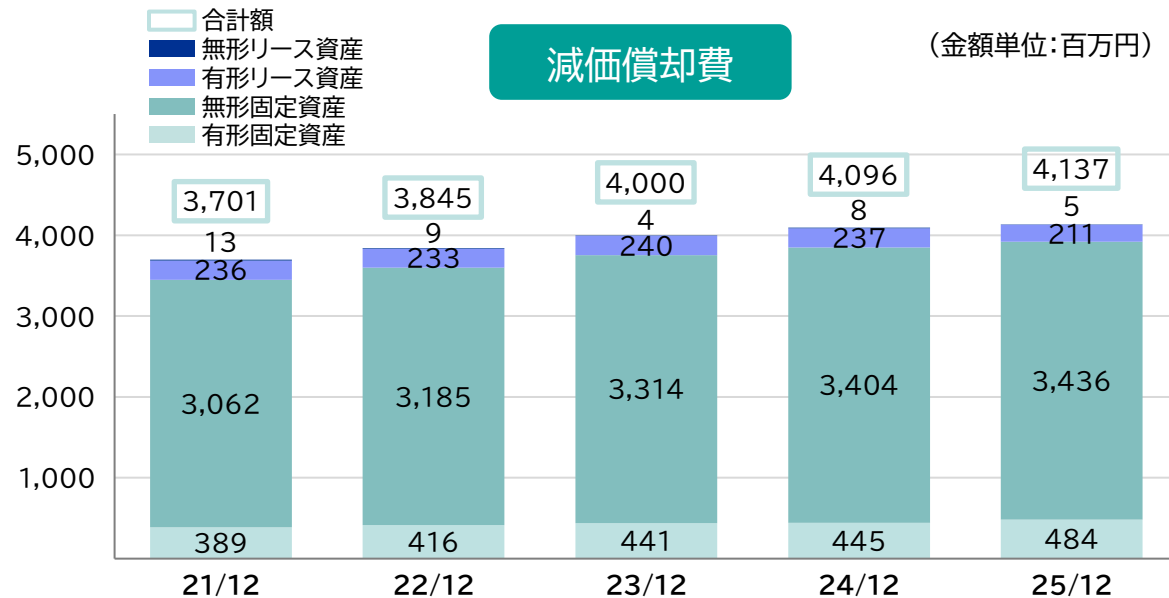
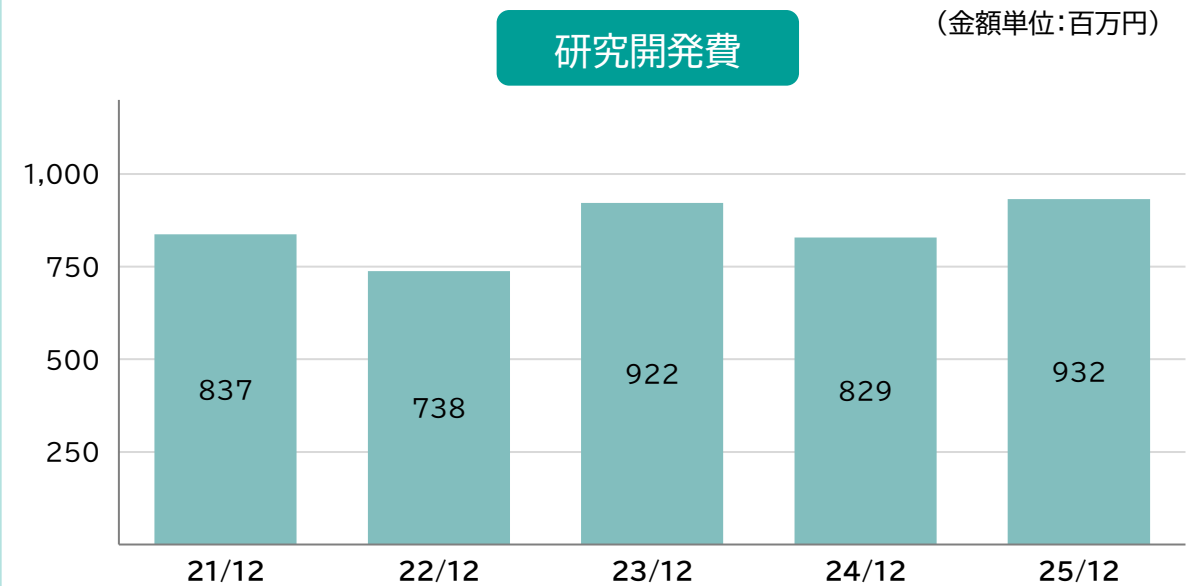
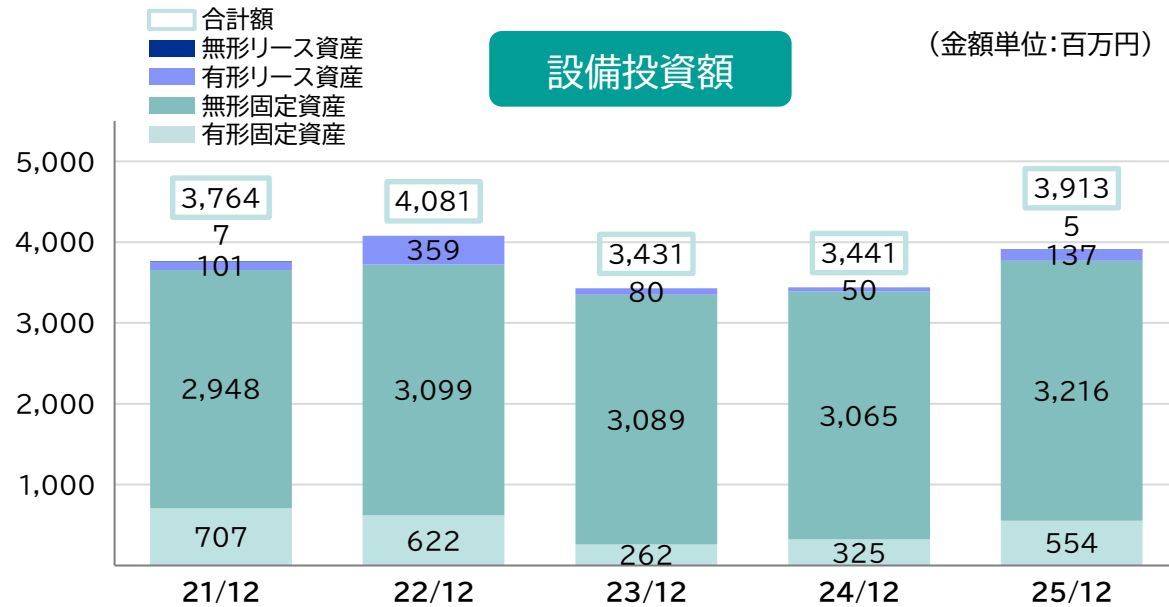
	前年同期比 (増減率)	2026年3月期 第3四半期の事業概況
売上計	+ 8億円 (+ 1.8%)	—
プロダクト ソリューション	+ 5億円 (+ 6.0%)	● GISパッケージなどのストック型サービスが堅調に推移
マーケティング ソリューション	△ 2億円 (△ 4.6%)	● 一般商業印刷等が減少
公共 ソリューション	+ 17億円 (+ 38.5%)	● 消防向け住宅地図データの提供が増加 ● 上期において国勢調査に係る受託案件等が増加(前期は4Qに発生)
インフラ ソリューション	+ 1億円 (+ 1.6%)	● ZENRIN Maps API などのストック型サービスが堅調に推移 ● 受託案件などは前年同期比で減少
モビリティ ソリューション	△ 15億円 (△ 12.2%)	● 当社データ採用モデルの販売減少 ● 海外子会社における受託ビジネスの縮小(採算性の低い受託ビジネスの見直し) ● 前期1Qに過年度の数量報告過少分の売上を計上した反動減(約4億円)

(参考) 国内自動車販売台数	前期	当期	増減率
3Q累計(4月～12月)	329万台	328万台	△0.3%
3Q期間(10月～12月)	112万台	110万台	△1.9%
(出典元:社団法人自動車販売協会連合会・全国軽自動車協会連合会の公表値を当社で合算)			

# 4) EBITDA・営業利益の増減【売上高・費用内訳】



## 5) 設備投資額・減価償却費・研究開発費



## 6) 主なニュースリリース

### 【3Q期間以降にZGP2030に掲げる以下取り組みを実施】

GISパッケージ・ZENRIN Maps API拡販施策、地域共創・企業共創の取り組み、当社ならではのネットワークデータの拡販 など

リリース日	タイトル
2025年 10月10日	<a href="#">「ZENRIN GISパッケージ」シリーズに登記所備付地図データを追加 地番の提供エリアを拡大</a>
10月30日	<a href="#">ゼンリンのデータ整備技術を活用し物流施設内の自動運転に対応した高精度地図データを提供（三菱地所、T2が実施する国内初の実証実験にて採用）</a>
12月11日	<a href="#">ZENRIN Maps APIで提供するEV充電スタンドの満車・空車情報に、e-Mobility Powerの情報 約25,600口を新たに追加</a>
12月18日	<a href="#">観光サービス「STLOCAL」を活用 持続可能なイベント運営に向けて連携「100年続く長崎ランタンフェスティバル」を目指した観光体験施策を実施</a>
12月22日	<a href="#">東京都「EV充電器設置需要マップ」にゼンリンの地理空間情報と分析ノウハウを提供</a>
2026年 1月13日	<a href="#">宮崎県宮崎市で防災に関する協働取り組みを実施（宮崎市、明治安田との3者連携で地域の防災力強化に寄与）</a>
1月15日	<a href="#">長崎県大村市・十八親和銀行・ゼンリン 「大村市空き家の管理・活用に関する連携協定」を締結「大村市空き家マッチングサービス」の実証を開始（3者共同リリース）</a>
1月22日	<a href="#">不動産業務のDXを実現、用地情報を地図上で一元管理・可視化できる地図データの統合プラットフォームを開発（東急不動産グループの事例）</a>
1月29日	<a href="#">複数移動手段のネットワークデータ「Mobility based Network」と GIS プラットフォーム「ArcGIS」が連携（ESRIジャパンとの共同リリース）</a>

※詳細は当社ホームページをご覧ください <https://www.zenrin.co.jp/information/>



## Appendix : 2026年3月期 通期業績予想

- 1) 2026年3月期 通期業績予想
- 2) 売上高・利益の推移
- 3) 事業別売上高の四半期別推移
- 4) EBITDA・営業利益の増減 【売上高・費用内訳】
- 5) 四半期売上高構成比率の推移
- 6) 四半期別の収益傾向
- 7) 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 8) 配当金

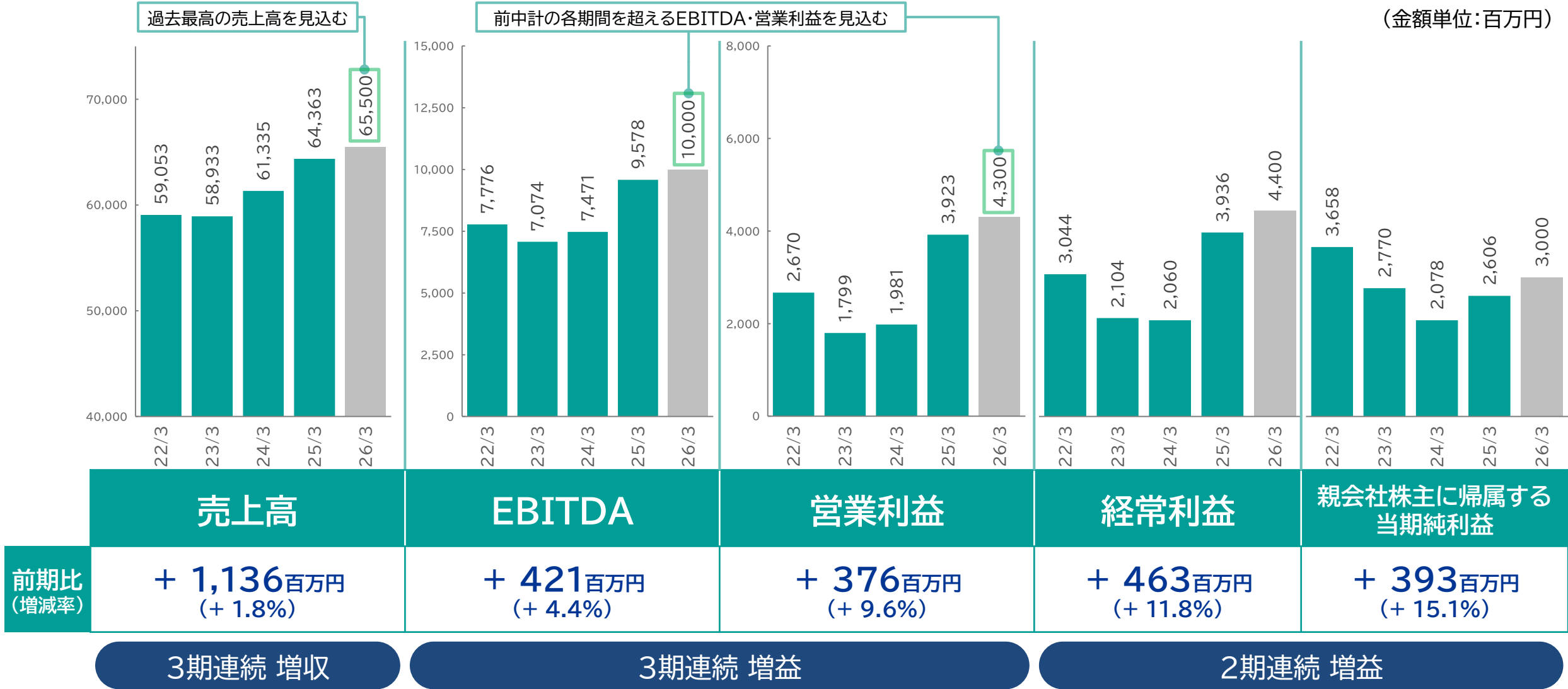
1) 2026年3月期 通期業績予想

【 期首業績予想を据え置き 】

年度末に売上高が集中する傾向にあることや、3Qまでの動きとして、公共ソリューション事業が好調に推移する一方、モビリティソリューション事業が低調に推移するなど、当社グループを取り巻く環境に不確定な要素があることから、期首業績予想を据え置き

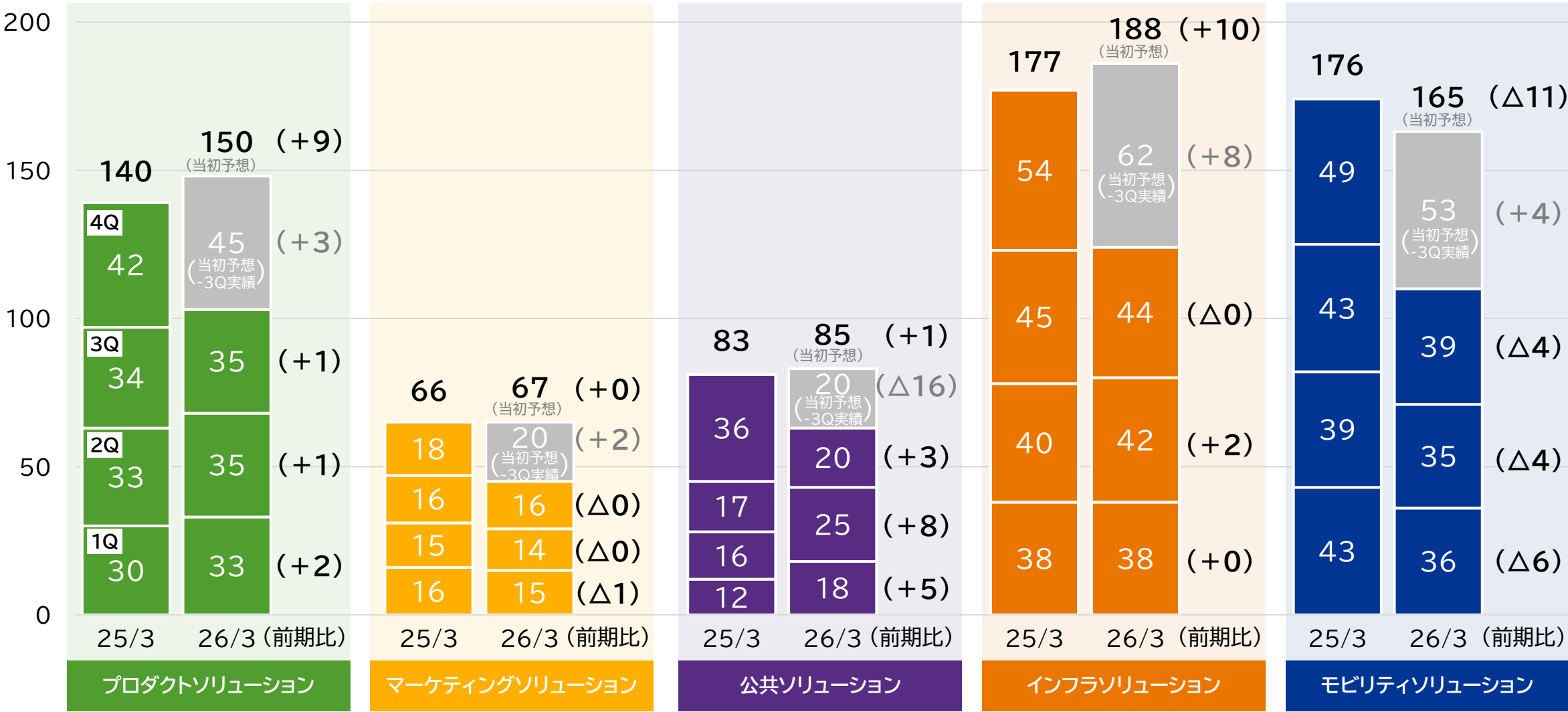
(金額単位:百万円)	① 前期実績 (2025年3月期)	② 当期業績予想 (2026年3月期)	前期比(②－①)	
				増減率
売上高	64,363	65,500	+ 1,136	+ 1.8%
営業費用	60,440	61,200	+ 759	+ 1.3%
EBITDA (EBITDAマージン)	9,578 14.9%	10,000 15.3%	+ 421 + 0.4pt	+ 4.4% -
営業利益 (営業利益率)	3,923 6.1%	4,300 6.6%	+ 376 + 0.5pt	+ 9.6% -
経常利益	3,936	4,400	+ 463	+ 11.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,606	3,000	+ 393	+ 15.1%
ROE (自己資本当期純利益率)	5.3%	6.0%	+ 0.7pt	-

## 2) 売上高・利益の推移



### 3) 事業別売上高の四半期別推移

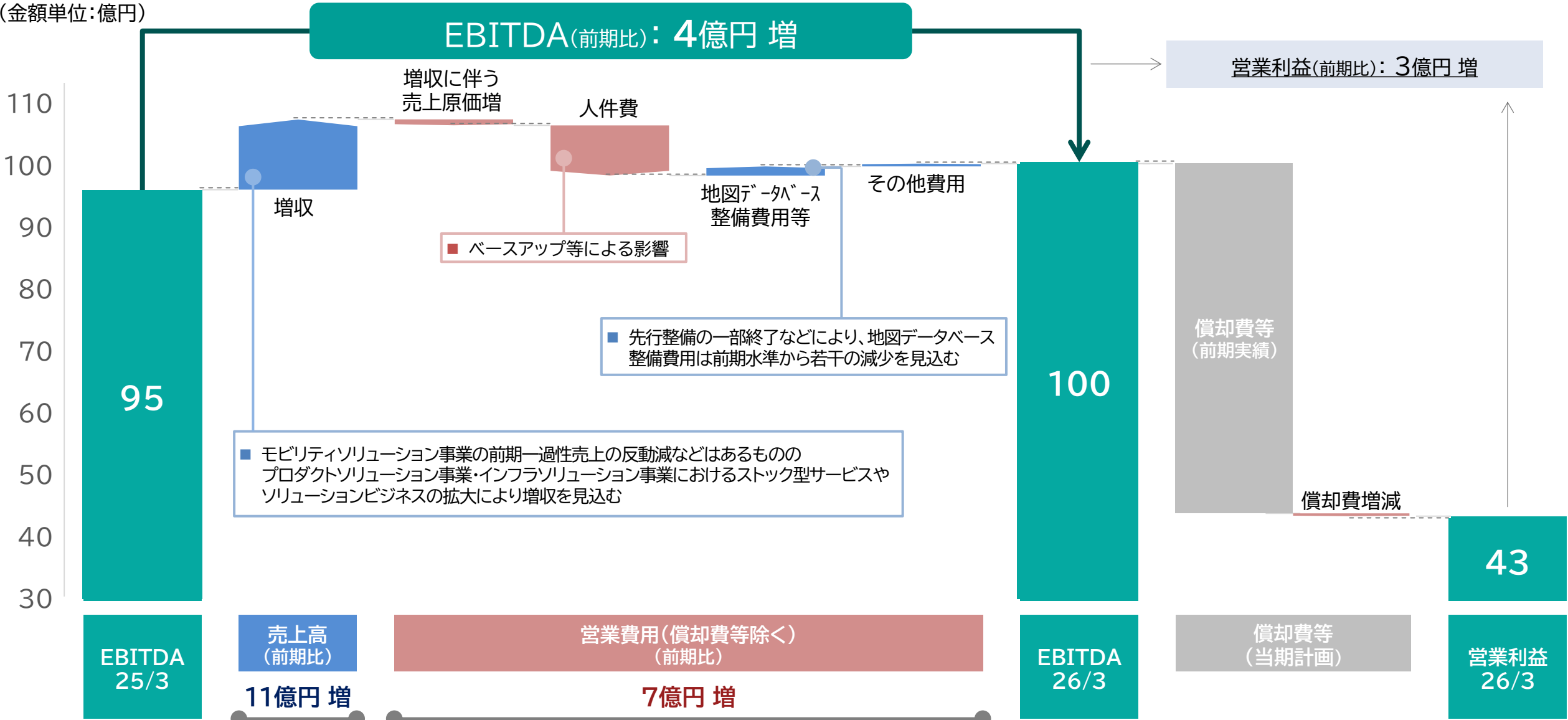
(金額単位:億円)



※ 25年3月期の数値は、中長期経営計画(ZGP2030)の事業区分に組み替えて表示しております。

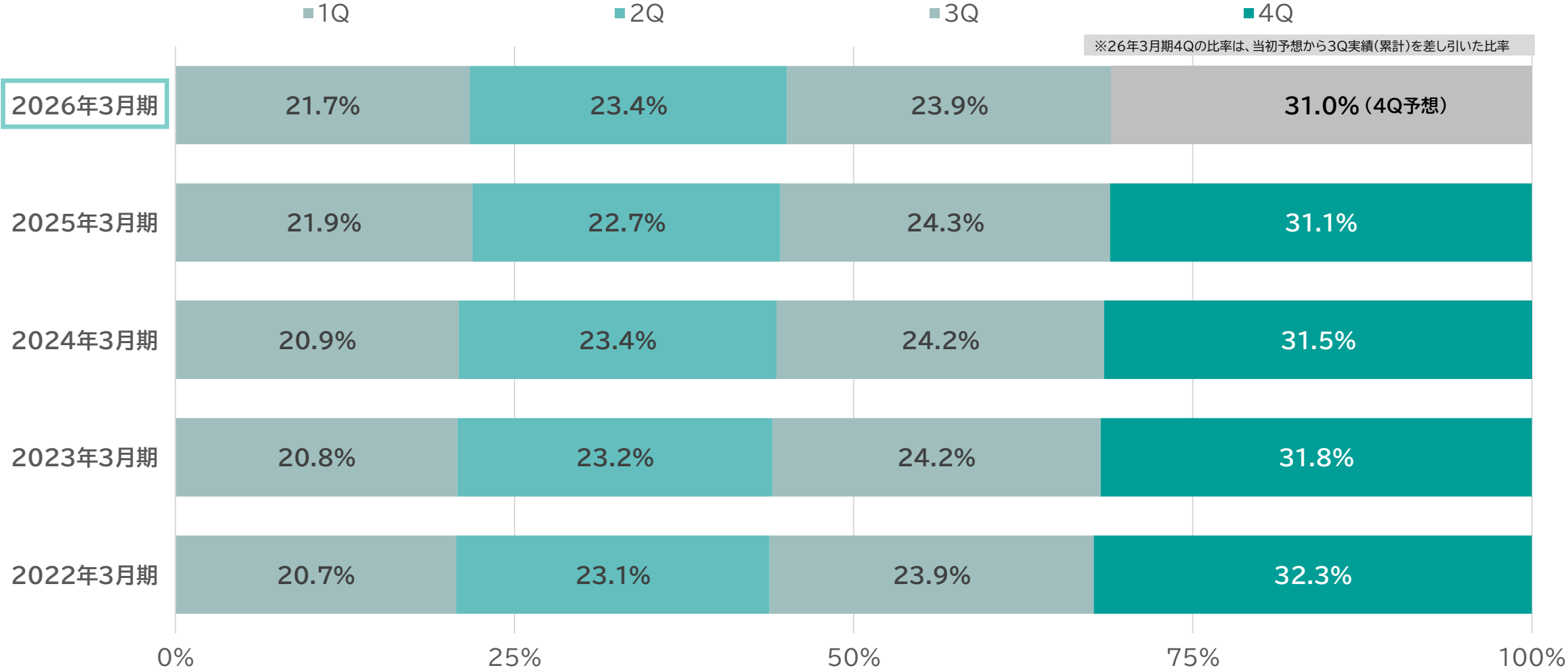
# 4) EBITDA・営業利益の増減【売上高・費用内訳】

(金額単位:億円)



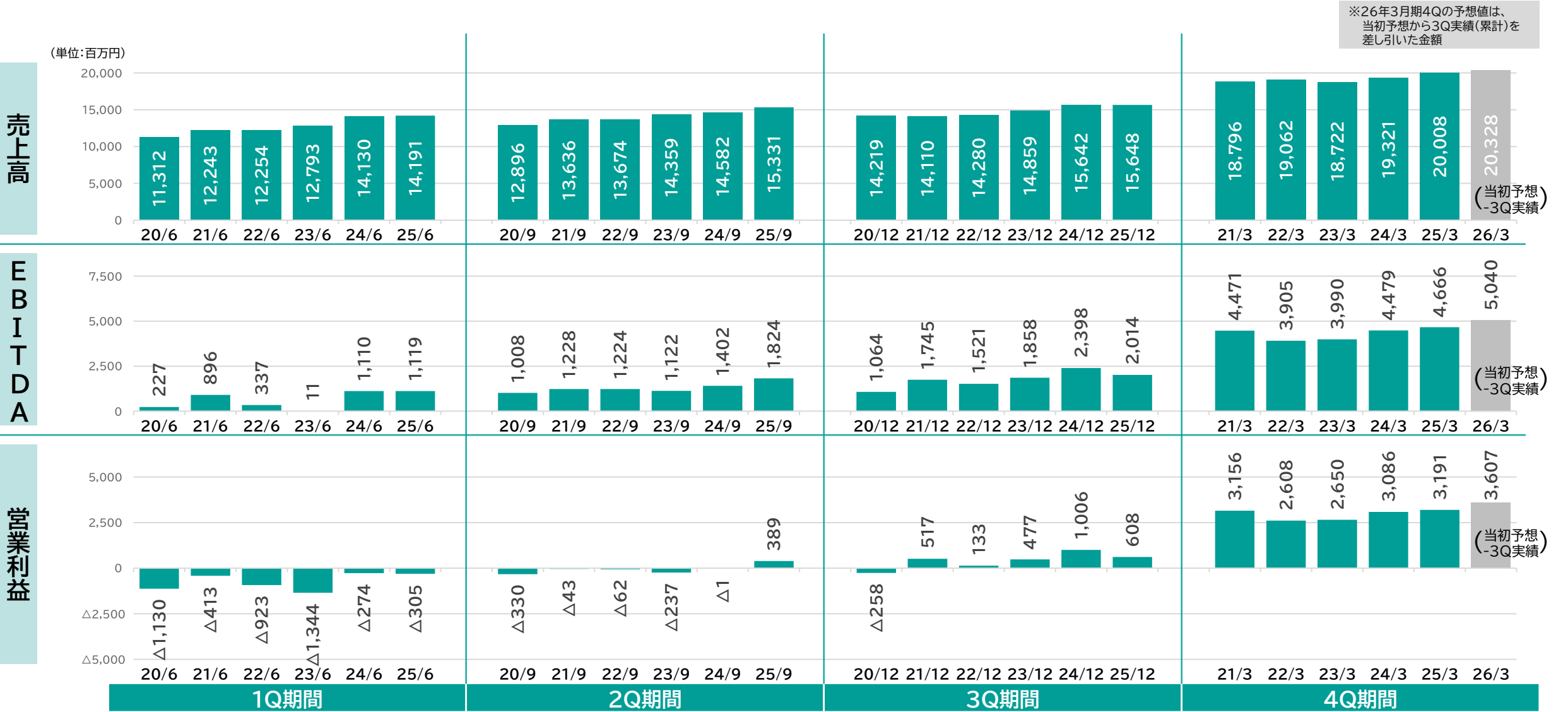
## 5) 四半期売上高構成比率の推移

従来より当社グループの売上高は季節的変動が著しく、年度末に売上が集中する傾向

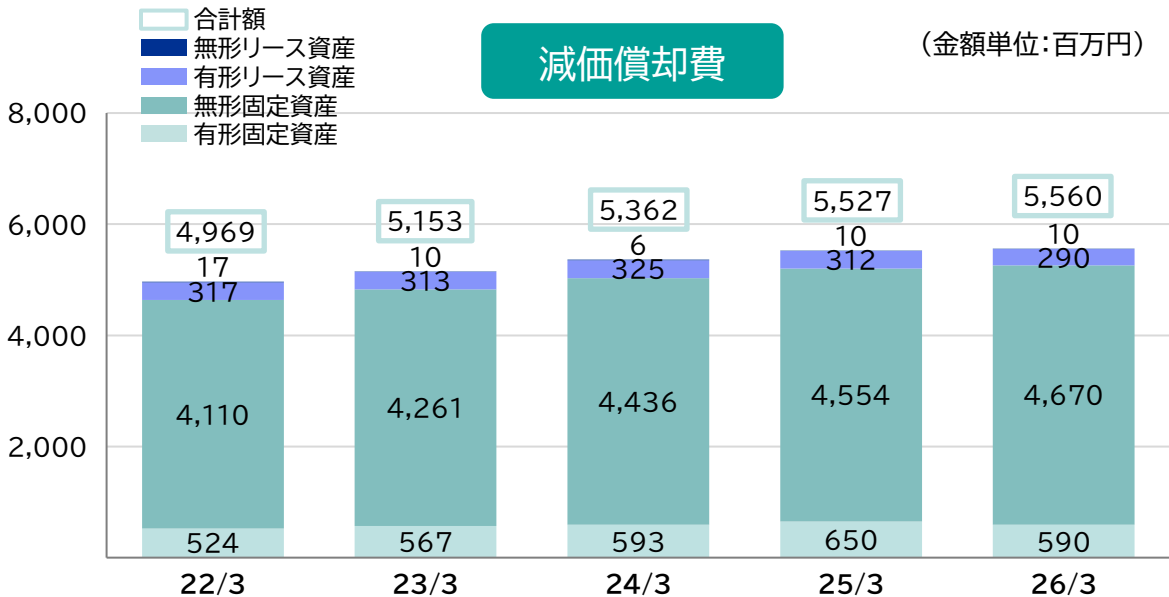
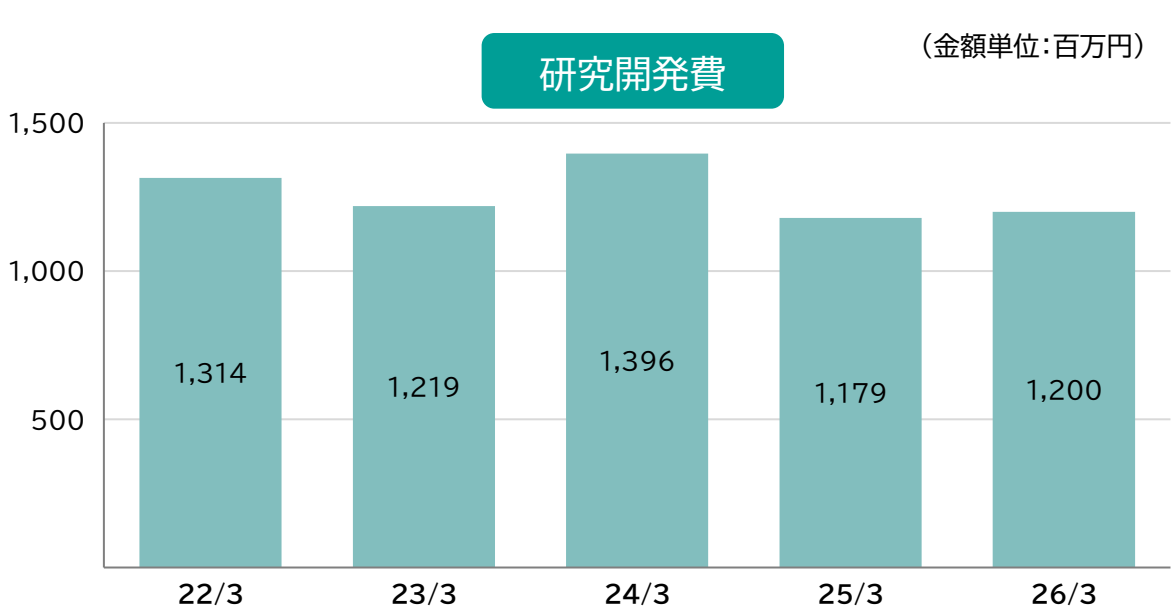
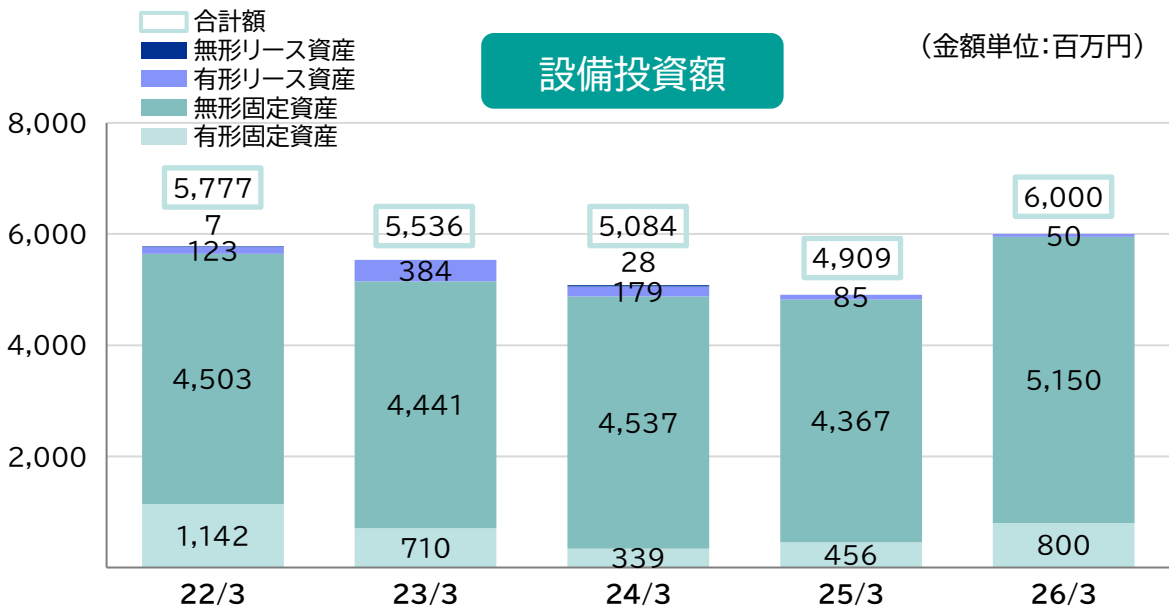


# 6) 四半期別の収益傾向

各四半期の売上高・EBITDA・営業利益の推移



# 7) 設備投資額・減価償却費・研究開発費





8) 配当金

利益還元の基本方針

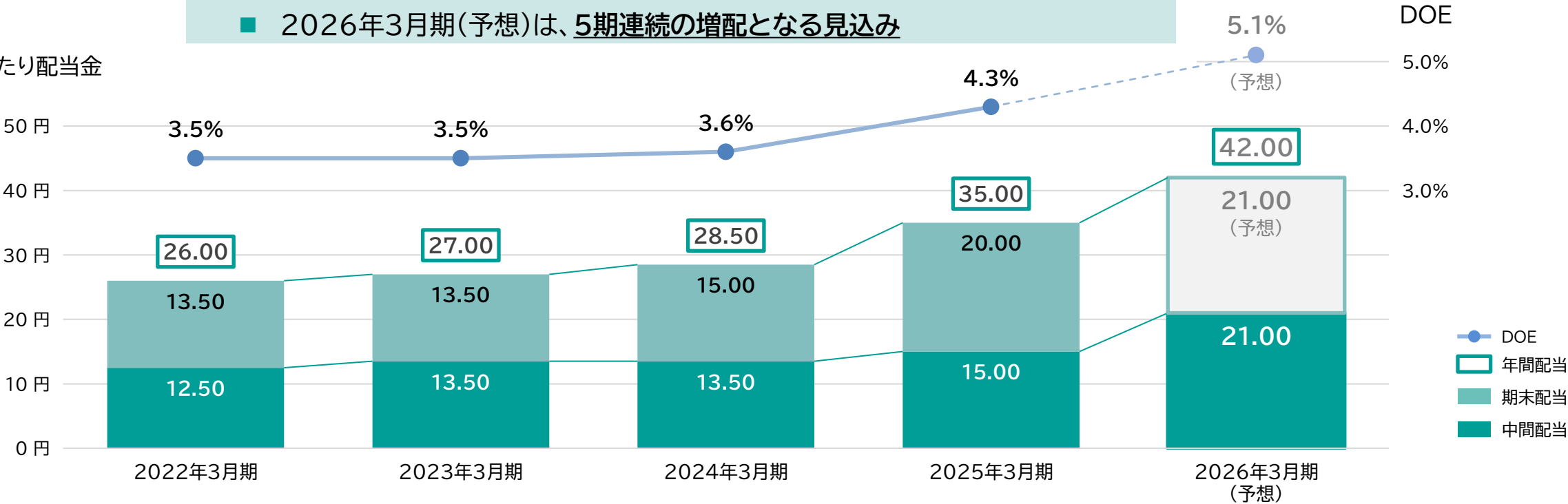
中長期経営計画における利益成長に基づき  
安定的・継続的な配当の実施に加え、機動的な自己株式の取得を実施

配当

<2026年3月期> 中間 21円、期末 21円(予想)、年間 42円(予想) / DOE 5.1%(予想)  
(前期比+7円) (前期比+0.8pt)

- 1994年9月の福証上場以来、普通配当の減配なし
- 2026年3月期以降、DOE目標を従来の3%以上から5%以上に引き上げ
- 2026年3月期(予想)は、5期連続の増配となる見込み

1株当たり配当金



# ZENRIN

## Maps to the Future

株式会社ゼンリン <https://www.zenrin.co.jp>

IRお問い合わせ先 [zenrin-ir@zenrin.co.jp](mailto:zenrin-ir@zenrin.co.jp)

会社説明資料 [https://www.zenrin.co.jp/ir/pdf/corporate\\_profile.pdf](https://www.zenrin.co.jp/ir/pdf/corporate_profile.pdf)